

# 千葉銀行一宮支店長賞

福島県／31歳／女性／会社員

おがわ みかこ

小川 美香子 様

✉手紙の相手：たったひとりの息子

「ママ、びょうきぶちよつとこちぎていらん、おいししゃん

い〜」

朝、なかなか元気の出ないママを見たあなたの言葉。頭を撫でて、ママ大丈夫だよ元気だよって笑ったら、ニツと笑い返してくれた。また心配させちゃった。まだ、2歳なのに。

あなたにとって、たった一人の親として生きていくと決めたのは、まだあなたが1歳にもならない頃だった。新しく仕事を探して、大黒柱も兼ね備えた、頼れる強いママになろうと思ったよ。何よりもあなたを守りたくて。

でも、現実には甘くなかった。ママは全然強くない。仕事で辛いことがあれば、どうしても落ち込んでしまうし、家のこともばあばやじいじに頼ってばかり。あなたはよく、ママを心配するようになってしまった。ママつかれた？ママだいじょうぶ？ママげんき？

ごめんね、ごめんね…。しっかり者になれない自分が情けなくて、

ママはあなたに謝ったことがあったね。夜、お布団に入って。でもしたら、あなたはポツリとこう言った。

「ママ、ぼくが、わるいから。ごめんね。」

ハツとした。不安そうなまんまる顔を見て、ママはすごく反省したよ。あなたは自分を責めるママを見て、あなた自身まで悪いと思ってしまうていたんだ。ママは、強くなるよりももっともつと、大事なことを忘れていたよ。

あなたに大好きだと伝えること。最近3歳になったあなたを、仕事帰りやお風呂で、お布団の中で、思い切りギューツとして、可愛い可愛い大好きって言葉にすると、ピッカピカの笑顔をくれる。そして、「ママしゅき、いいこ」って小さい手で顔を包んでくれる。もうほんつとに、それがすつごく幸せ！

ねえリキ、ママは大丈夫。ほかのママより弱いかもしれないけど、あなたが大好きな気持ちだけは誰にも負けないから。ママにとってのおいししゃんは、リキちゃんなんだよ。心配しないで、たくさん笑って、たくさんギューして、ママと一緒に生きていこうね。

✉手紙への想い✉

息子が大きくなって、文字が読めるようになった時、読んでほしいなと思いつきながら書きました。母からどれだけ大切に想われているか、少しでも伝わってくれたら嬉しいと思います。